

大分県マリンカルチャーセンターの指定管理候補者の 選定結果について

平成 22 年 10 月 26 日
大分県農林水産部 漁業管理課

1 経緯

大分県マリンカルチャーセンターの指定管理候補者の選定にあたり、大分県マリンカルチャーセンター指定管理候補者選定委員会（以下、選定委員会）は、応募事業者から提出された書類の審査を行ってまいりましたが、このたび、審査・選定が終了いたしましたので、ここに結果をお知らせします。

2 大分県マリンカルチャーセンター指定管理候補者選定委員会 委員等

委員 長	牧 稔	(大分県農林水産部審議監)
委 員	関谷 忠	(別府大学国際経営学部教授)
委 員	西村 昭郎	(株式会社 J T B 九州大分支店長)
委 員	堀 精治	(大分県旅館ホテル生活衛生同業組合事務局長)
委 員	小川 浩	(大分県農林水産部漁業管理課長)

3 指定管理候補者選定の経過

項 目	年 月 日
●第 1 回大分県マリンカルチャーセンター指定管理候補者選定委員会 (審査基準、スケジュール、募集要項等の検討)	平成 22 年 7 月 2 日 (金)
公募開始 (公告)	平成 22 年 7 月 21 日 (水)
公募に関する現地説明会実施	平成 22 年 8 月 3 日 (火)
公募に関する質問受付	平成 22 年 8 月 4 日 (水) から 8 月 17 日 (火) まで
公募に関する質問回答	平成 22 年 9 月 1 日 (水)
申請書の受付 (申請 3 団体)	平成 22 年 9 月 8 日 (水) から 9 月 21 日 (火) まで
応募資格等確認	平成 22 年 10 月 13 日 (水)
ヒアリング実施通知	平成 22 年 10 月 13 日 (水)
●第 2 回大分県マリンカルチャーセンター指定管理候補者選定委員会 (ヒアリング、審査、協議、選定)	平成 22 年 10 月 19 日 (火)

※●は選定委員会

4 審査の方法、審査基準及び配点について

7月2日に開催した第1回大分県マリンカルチャーセンター指定管理候補者選定委員会において、審査基準及び配点を決めました。この内容は、募集要項に記載しています。

審査基準	審査基準における評価項目	配点
1 事業計画書の内容が、県民の平等な利用が確保されるとともに、サービスの向上が図られるものであること	・施設の設置目的及び県が示した管理運営の方向性との整合性	25点 × 5人 = 125点
	・平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	
	・サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	
2 事業計画書の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するものであること	・利用者増を図るための具体的手法及び期待される効果	20点 × 5人 = 100点
	・利用者の安全管理及び施設の維持管理計画の内容並びに実現の可能性	
3 事業計画書の内容が、管理に係る経費の縮減が図られるものであること	・施設の管理運営にかかる経費の内容 (算定式) 最低申請者の価格／当該団体の価格×25点 ※少数第1位を四捨五入	25点 × 5人 = 125点
4 事業計画書に沿った管理を安定して行う能力を有しているものであること	・安定的な運営が可能となる人的能力	30点 × 5人 = 150点
	・収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	
	・安定的な運営が可能となる経理的基盤	
	・類似施設の運営実績	
計		500点

5 申請団体一覧

平成22年7月21日（水）から9月21日（火）までの間、公募を行い、以下の団体から申請がありました。

（受付順）

	団 体 名
1	安田建物管理株式会社
2	いづみ印刷株式会社
3	株式会社サンテツ
計	3 団体

6 選定結果及び選定理由

選定委員会において厳正な審査を行った結果、次の団体を指定管理候補者として選定しました。

【団体名】

株式会社サンテツ（佐伯市春日町8-26）

【事業概要】

港湾荷役業、倉庫業、ホテルの経営、飲食店、喫茶店の経営、海上運送業、船舶貸渡業、建物賃貸業、通信機器、PCの販売ならびに保守等

【選定理由】

株式会社サンテツの提案は、地域との連携をいかした管理運営や事業内容が具体的であり、その他提案内容についても他の申請者に比べると実現性・安定性があり、その点が高く評価された。社会教育主事有資格者を5名配置するなど、教育的な観点からの施設利用についても優れていた。

具体的には、施設利用の公平性、関係団体等との連携及び各種事業についての検証や提言を図ることを目的とした地域住民や関係団体から構成される管理運営協議会を設置すること。地元漁業者やNPO法人かまえブルーーツーリズム研究会などと連携して行う漁業体験等の実施。地産地消の観点から、地元漁協から新鮮な魚介類を調達することをはじめ、水産加工物や野菜等も地元から調達するなど、施設の設置目的及び県が示した管理運営の方向性の面で高く評価された。

社会教育施設としての管理運営に関して、社会教育主事有資格者を5名配置して社会教育事業の推進を図るとともに、小・中学校、高等学校及び特別支援学校等が教育活動として施設を利用する際に円滑で安定的な運営が可能となる人的能力の面で優れていた。

その他提案内容についても、他の申請者に比べると具体性があり、収支計画及び事業内容等に沿った施設の管理運営が安定して行われると認められた。

上記内容等を踏まえて総合的に判断した結果、株式会社サンテツが指定管理候補者として選定された。

【指定期間】

平成23年4月1日から平成28年3月31日まで（5年間）

7 審査の評価及び得点 (各団体の評価項目毎の合計得点、総得点及び総合評価)

審査基準	審査基準における評価項目	団 体 名		
		株式会社サ ンテツ	安田建物管 理株式会社	いづみ印刷 株式会社
1 事業計画書の内容が、県 民の平等な利用が確保さ れるとともに、サービス の向上が図られるもので あること	・施設の設置目的及び県が示し た管理運営の方向性との整合性	37	25	13
	・平等な利用を図るための具体 的的手法及び期待される効果	15	15	14
	・サービスの向上を図るための 具体的手法及び期待される効果	52	50	38
小計		104	90	65
2 事業計画書の内容が、公 の施設の効用を最大限に 発揮するものであること	・利用者増を図るための具体的 手法及び期待される効果	43	40	25
	・利用者の安全管理及び施設の 維持管理計画の内容並びに実現 の可能性	27	37	19
小計		70	77	44
3 事業計画書の内容が、管 理に係る経費の縮減が図 られるものであること	・施設の管理運営にかかる経費 の内容(5年間の提案価格合計、 単位:千円)	115	125	120
	<算定式>	H23 76,000	H23 72,000	H23 76,650
	最低申請者の価格/当該団体の価格 ×25点	H24 76,000	H24 70,000	H24 75,600
		H25 76,000	H25 70,000	H25 73,500
		H26 75,000	H26 70,000	H26 73,500
		H27 74,000	H27 69,000	H27 70,000
	※少数第1位を四捨五入	計 377,000	計 351,000	計 369,250
小計		115	125	120
4 事業計画書に沿った管理 を安定して行う能力を有 しているものであること	・安定的な運営が可能となる人 的能力	67	56	50
	・収支計画の内容、適格性及び 実現の可能性	23	15	16
	・安定的な運営が可能となる経 理的基盤	22	19	18
	・類似施設の運営実績	11	8	1
小計		123	98	85
合 計		412	390	314

【サービス改善提案事業：株式会社サンテツ】

採択されたサービス改善提案事業	採択額
・インターネットによる宿泊予約システム導入 ・館内に設置したパソコンによる各種情報提供	平成23年度～平成27年度 各年度 500千円/年

【総合評価】

株式会社 サンテツ	<p>地域との連携をいかした管理運営や事業内容が具体的であり、その他提案内容についても他の申請者に比べると実現性・安定性があり、その点が高く評価された。社会教育主事有資格者を5名配置するなど、教育的な観点からの施設利用についても優れていた。</p> <p>(詳細については、選定理由参照)</p> <p>4年間の経験を踏まえ収支計画は堅実であるが、安定した管理運営を行うためには、施設利用料・宿泊客収入の増加を図ること等が今後の課題である。</p>
安田建物管理 株式会社	<p>施設の維持管理及び利用者の安全管理の面では、会社の特性をいかした優れた提案内容であり、提案価格が最も低価格であった点などは高く評価された。</p> <p>県内利用者の増加よりも、県外利用者の誘致に力点がおかれ、また、地域との連携や地元食材の調達の間でも具体性に乏しいことから、施設の設置目的及び県が示した管理運営の方向性において、評価が低かった。</p> <p>館長候補者については特定されてなく、社会教育主事有資格者等の人的能力や収支計画の実現可能性などの面においても劣っていた。</p>
いづみ印刷 株式会社	<p>「ちょこっと海へ行こう（ちょこ海）戦略」と名付けて行う海洋教育のプログラム化、海洋療法の研究など、多くの斬新な事業計画を提案されている。また、5年目には提案価格を大幅に削減するなど強い意欲が伺える。</p> <p>しかし、事業計画の全体を通して具体的な記述に乏しく、また、類似施設の運営実績がないこともあり、実現可能性の面で評価が低かった。</p>

8 今後の予定

指定管理候補者は、選定委員会の結果をふまえて県で正式に決定され、県議会の議決を経たうえで、指定管理者として指定されます。

【参考資料】

●第1回大分県マリンカルチャーセンター指定管理候補者選定委員会議事要旨

○議題

- (1) 選定委員の委嘱及び委員長を選任等について
- (2) 大分県マリンカルチャーセンターの概要について
- (3) 審査基準及び選定方法について
- (4) 募集要項、仕様書、申請書類、事業実績資料について
- (5) 今後の日程について

○結果

事務局から説明を行い、各議題について協議され、いずれも原案どおりに承認された。

●第2回大分県マリカルチャーセンター指定管理候補者選定委員会議事要旨

申請者に対するヒアリングを実施後、審査基準に基づき5名の委員が採点を行い、その集計結果を基に委員から意見が述べられた。

また、指定管理候補者決定後、株式会社サンテツが提案した「サービス改善提案事業」の採択の可否を行った。

○株式会社サンテツに対する主な意見

- ・ 地域との連携や地産地消など管理運営の基本的考え方が具体的であり優れている。また、県内利用者に軸足を置いた計画である。
- ・ 4年間の経験を踏まえた現実的な提案である。
- ・ 現指定管理者の提案内容を厳しく評価したが、結果として1番であった。
- ・ 自己資本比率が3者で1番高く、財務状況は健全であり、安定的な運営が可能である。
- ・ 地域関係団体で構成された管理運営協議会の設置は評価できるが、県内全域からも意見をもらう必要がある。

○安田建物管理株式会社に対する主な意見

- ・ 建物の総合管理事業を行っており、施設の維持管理や利用者の安全管理の計画は優れている。
- ・ 福岡県を中心とした県外からの誘客も必要であるが、大分県の施設であり、まずは県内利用者の増加に重点を置いた計画にしてもらいたい。
- ・ 県外企業であるため、佐伯市内に事務所を置く予定であるなどの努力は認められるが、地域との連携に不安がある。
- ・ 宿泊施設の運営実績がない中で、宿泊者数が毎年5～10%増の計画であるなど提案内容の実現可能性が懸念される。

○いづみ印刷株式会社に対する主な意見

- ・ 「ちょこっと海へ行こう(ちょこ海)戦略」などのキャッチコピーはすばらしい。
- ・ 館長候補者は、総合レジャー施設(宿泊施設有り)で長年の勤務実績があり、具体的に評価できる人物であった。
- ・ 珊瑚の生息調査や「海と健康」商品の開発などのために、毎年1,000万円の調査研究費を計上するなどの特徴があった。
- ・ 各種事業の提案内容は斬新であったが、全体的に実現するための具体性に乏しい。

○サービス改善提案事業の採択の可否について

委員会で協議した結果、株式会社サンテツから提案があった「サービス改善提案事業」については、採択された。

なお、「サービス改善提案事業」の年度ごとの事業及び収支計画については、県と協議のうえ、実効性のある内容にして実施すること。